

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	小池 順一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	2	前期	選択	いいえ	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>結婚、離婚、近隣トラブルなど、一般的なテーマに加えて、学生に質問をして、身近な問題を挙げてもらい、その点について解説した。身近な事例について、分かり易く説明したので、所期の目的は達成できた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>学生の到達度自己評価を見ると、「自分なりの目標を達成した」については、4.0であり、課題レポートも評価はSであったので、上記の目的はやや達成されたといえる。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>法律に関する知識を得るのみでなく、考える力も養えるように授業を行った。教養科目として妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、いずれの項目も4.3であり、学生の参加できる機会の確保、学生への質問対応など授業の進め方に関しては、妥当であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>少人数での授業であったので、活発な質疑応答もできたと思う。今後は、事前事後学習の推進に努めたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンスⅡ	2	前期	選択	いいえ	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。③関心のある内容である100%、④単位数を確保する100%</p> <p>・学科における選択科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。</p> <p>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均81.8点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.5で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>(3) 事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。</p> <p>(1) 自分なりの目標を達成した</p> <p>(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた</p> <p>(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた</p> <p>(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた</p> <p>(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科のDPの技能表現(DP5)の基礎部分を担う科目として開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題は無いと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.5であり、概ね意図した授業が実施できた と考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。 予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を 検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので 特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照 することを学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	2	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>読む・書く・聞く・話すという4つの、構成上の意義について学ぶことを主眼としている。このうちのひとつが欠けても、十分な表現者としての完成はありえないということ、学生が認識するためにも、具体例をあげながら、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるための方法、手段、形式、を徹底的に修得するべくマンツーマン講義をめざしている。また、この講義は、保育科における日本語表現であることから、単なる技術的なテクニックだけではなく、実習日誌をもきちんと表現できなければ成り立たないことを念頭におくことを理解させる。バランスの取れた人格であるか否か、ものの見方、受け取り方はまともに出てきているか否か、そういったことをも考慮に入れて学びを深めてゆきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>総合評価としては70パーセントから75パーセントまでは伸びているように思われる。着実に理解し、吸収しているようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の位置づけから見た妥当性については、80パーセントは活かされていると思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>改善策としては、もう少し、グループワーク的な授業が展開できればよかったのではないかと、思える節もあった。日頃、発表力の乏しい学生が、やや、次第に活性化している傾向も見え隠れしていたので、講義形式のみならず、工夫することも大切であると思われる。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>添削とマンツーマン指導を増やし、個別指導を徹底的にしなければいけないと考えている。学生がどこまで納得できているのか、評価の段階であらためてふりかえりの時間を作る予定である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得の必修科目でもあり、テキストや参考文献等も活用しながら伝えるべき内容を網羅するようにシラバスに従って授業を進めた。 これから保育者を目指す1年生前期の時点で、望ましい保育者として押さえておくべき知識理解、態度について、現場をイメージしやすいように保育現場でのエピソードを織り交ぜながら、説明することを重視した。 学生がそれぞれに望ましい保育者像や子どもの姿を簡条書きした後にグループワークでそれぞれの意見を出し合い、それを元に望ましい保育者の専門性や倫理観について解説を行った。それによってそれぞれの保育者像を活かしながらさらに望ましい保育者について考えることができたと思う。 授業の最後に小テストを行い、理解の状態を確認して解説をしたことで、内容の定着を図った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通しての成績は85.6点(±3.4)であった。総合評価としてはほとんどの学生がA評価以上の理想レベルに到達できていた。 小テストはレジュメや教科書を参考にして行ったこともあり、平均値が91.8点(±2.8)と好成績で、知識理解は概ね達成されたと思う。 態度は、出席状況もおおむね良好で私語もほとんどなかった。時々集中が削がれている場面が見られたが、声をかけることで前向きに授業に臨む態度が感じられた。グループワーク等の発表では積極的に意見を出す者とそうでない者の差が見られたが、こちらから指名して質問をすと意見を述べることはできた。 授業内容に該当するテキストの箇所を知らせていたが、授業アンケートによればテキストを使って予習・復習することが十分できていたとはいえなかった。小テスト前には授業内容の確認学習ができていた。 授業アンケートの「自由記述」より、現場でのエピソードを織り交ぜた説明が有効で、内容理解が促されたようである。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本科目は、「専門教育科目」の「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生はいずれの免許・資格の取得も希望しており、意欲的に授業に臨む姿が見られた。 自由記述では、現場での事例(加工しながら)を用いて解説したことで、「望ましい保育者像の理解がしやすかった」と記述している学生が複数いた。事例を使った説明は有効であったと思われる。 以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・入学直後のそれぞれの学生がもつ望ましい保育者のイメージを活かしながらも、テキストを用いた解説に加え、他者の意見も取り入れながら、より望ましい保育者像を構築することを目指した。グループワークでは活発に意見を出す学生とそうでない学生とが見られたため、意見の書き込み用紙を使うなど、できるだけ多くの学生が安心して積極的に自分の意見表明ができる授業環境を工夫したい。・予習・復習を行う学生が少ないので、授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、学生の主体的な学びを促すような授業を心掛けたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	末嵩 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	卒業必修科目のため、学科の全学生が履修する。一年次の学習や実習経験が基礎として活かせるよう、内容も十分に関連付けながら、より理解を深められるよう授業計画を立てた。前年度は担当の初年度で、一年次の積み上げが無いまま授業を行ったため、既習の内容や説明不足のところもあったが、今年度に関しては継続性を持って授業が行えたと考える。また「板書の量が多い」との意見もあったため、今年度はプリント資料を増やすなどの配慮も行った。試験実施に関しても、授業開始時に十分な説明を行ったため、学生も備えが出来ていた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		どちらともいえない		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	評価(点数)の平均値は、ABクラスが68.8、CDクラスが72.2。秀が12%、優が16%、良が32%、可が26%、不可が15%。試験問題は知識理解を問うものと意欲関心を問うもので構成した。知識理解に関しては多くの学生が十分に理解できていた。昨年度の内容から若干変更しているが、平均は上がっており、学生たちが十分に備えて試験に臨んだと考えられる。ただし、意欲関心を問う問題では、文章記述の解答率が低く、学問としての教育学への意欲関心が高められたとは言えない結果となった。 一方で、予習復習の時間の少なさや課題外学習に取り組んだ学生が少なく、今後の課題であると思われる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CPともに内容的に妥当であると言える。カリキュラムマップにおける位置づけについても、妥当である。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今回も「板書量が多い」という回答が1件あった。改善を試みたい。 授業の進め方については、予習復習を行うような課題設定を行いたい。 評価の基準について、これまで以上にこまめな説明を行いたい。 より理解が深められるよう使用テキストを設定したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨年度に比べて、評価は上昇しており、改善の結果はあったと思われる。「教育原理」という科目の特質もあり、学生にとっては意欲的に取り組みにくい分野ではあるが、次年度はテキストや事例などを用いながらできるだけ平易な言葉で理解を深められるようにしたいと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
児童家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の受講対象は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目でもあることから、全ての学生が受講している。本科目は、保育士として必要とされる福祉的視点や援助観を涵養する上で基礎となる科目の一つである。授業では、保育者を目指す学生が本科目を学ぶ意義を丁寧に伝えることを心掛けた。また、今年度も学生の予習、復習への意識を高めること、学習状況を確認することをねらいとして、小テストを実施した。しかし、アンケートの結果をみると予習、復習を行っていない学生が、25～35%おり、このような学生の学修準備性を高めるための新たな取り組みが必要だと考える。</p> <p>今年度もリアクションペーパーを活用し、いち早く学生の疑問や意見に対応できる取り組みを行った。実際の学生からの声として、リアクションペーパーに対する肯定的な意見を聞くため、今後も継続して取り組んでいきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてS-29名、A-31名、B-8名、C-11名、D-0名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約76%であることから、目標はやや達成されたと考える。また再試対象者は7名であった。</p> <p>他方、学生による授業評価の結果をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目において97%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされており、意欲関心を示す項目でも同様に97%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の回答をしている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目である。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DP1に関して、「学習達成度の自己評価」における知識理解、意欲関心を示す項目で、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。他方、コミュニケーション能力に関する項目においてわずかながら否定的な意見がみられるが、本科目が講義科目という性質上の課題であると考えられる。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は確保できていると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では、可能な限り学生が発言できる機会を設けることで、学生が主体的に考え取り組むことができるよう配慮している。また、単元ごとに作成、配布した予習プリントを基に学籍番号順での質問やクイズ形式での質問等を行い、すべての学生が発言できるよう工夫している。</p> <p>今年度も学修準備性を高めることを目的に、小テストの実施、予習プリントの配布を行った。「授業の質の評価」では、全ての項目の平均値が4.0～4.2点であり、このような取り組みが学生からの一定の評価を得る結果につながっているのではないかと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。</p> <p>昨年度は一昨年度と比較し「達成度自己評価」「授業の質評価」において平均値の上昇がみられたが、今年度も昨年度と同様の数値を維持することができた。これは、昨年度より行っている小テストの導入や不特定多数の学生が発言できる場の提供等の授業改善に向けた継続的な取り組みの結果ではないかと考える。</p> <p>他方、アンケート結果でも示されているように、学修準備性において十分確保できているとは言えない状況もあり、今後もさらなる改善をめざしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護	2	前期	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、社会的養護に関する制度・施策、子どもの人権擁護や自立支援、社会的養護の現状と課題など社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指している。また、社会的養護の実践をより具体的にイメージできるよう、適宜事例等を用いて可能な限り実践に即した学びを得ることができるよう心掛けた。また、授業の進行状況に応じて適宜小テストを行い、予習、復習に対する意欲の向上、学習状況の把握に努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてS-17名、A-31名、B-18名、C-28名、であり、S、A評価を取得したものは名で全体の約51%であることから、目標はやや達成されたと考える。再試験対象者は10名であった。学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目で98%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的高い。DPIについては、学生による授業評価の知識理解の観点、意欲関心の観点での自己評価の項目で98%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから、内容的妥当性は確保できたと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度も学修準備性を高めることを目的として単元ごと的小テストを実施したが、アンケート結果をみると目的が達成できたとはいえない。また、学生からの自由記述において「時間がなかった」「気が回らなかった」といった意見がみられるため、課題プリントの内容を再検討するなど改善策を講じていきたい。他方、課題であった授業環境の改善に取り組んだ結果、今年度は「授業の質の評価」における全ての項目で、昨年度よりも肯定的な評価を得ることができた。今後も更なる授業改善に向け着実に取り組んでいきたいと考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 本科目は保育士に求められる専門的知識を獲得するだけでなく、職業理解にもつながる重要な科目であるため、今後も引き続き授業の質的向上に向けた取り組みを行ってきたい。また、学生の学修準備性を高め、授業での学びがより深いものとなるようしっかりと改善に努めていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助	2	前期	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、保育士に求められる相談援助の基本的知識と技術の獲得を目指すとともに、対人援助職としての姿勢や態度を涵養するため意識的な取り組みを行った。また、授業での学びをできる限り実践と関連付けて考えることができるよう、保育場面における具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを展開した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価としてS-17名、A-33名、B-29名、C-14名、D-1名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約53%である。また、再試験対象者は1名であった。他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全ての項目に対して、98%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上のことから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」における福祉系の基本科目の一つとして位置付けられている。DPでは、思考判断の観点、意欲関心の観点、技能表現の観点での自己評価について、9%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は確保できたと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>全15回の授業について、前半7回は相談援助理論等の講義、後半8回は保育場面における具体的な事例を用いた演習を行い、相談援助活動の実践的に理解できるよう意識的に授業を展開した。また、適宜レポート提出を求め、学習状況を確認し、必要があれば時間を設けて解説を加えるなど学生の理解促進に配慮した。学修準備性を高めるための改善策として、昨年度から取り組んでいる小テストの実施や予習プリントの配布に加え、要点を整理したシラバスの作成・配布、身近にある授業理解に役立つ情報の提供等を行った。アンケートの結果をみると、昨年度に比べ学修準備性は少し高まっているように見えるが、明らかな有効性が確認できたとは言えないため、さらなる改善に向けた取り組みを行っていききたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 昨年度からの継続課題である学修準備性について新たな改善策を講じ、数値的には若干好転したように思われる。しかし、全体的には低い状況であるため、学生の状況やニーズを踏まえた改善に取り組んでいく必要がある。また、演習科目という特性を生かし、学生が可能な限り体験的、実践的に学ぶことができるよう、教材の修正や改善を行っていききたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学 I	1	前期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識している学生は半数である。現在、授業初回にカリキュラムマップを用いて説明しているが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。</p> <p>受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行う、他科目ではあるが見学実習や遊び体験を振り返ってイメージする機会を持つなど配慮した。配布資料はスクリーン用とは別に内容を集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。</p> <p>講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れるように心がけた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は77.8点(最高点100点、最低点54点、A-8人、B-23人、C-37人、D-8人、E-2人)である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はAB-78.9点、CD-76.8点であった。A,B,C,D評価の内訳もほぼ変わらない。つまり、両クラスも偏ることなくほぼ同じくらいの理解度であるといえる。また、「到達度自己評価」、「授業の質評価」では全員が「まあまあそうだと思う」以上も評価しており、全体を通して目的はほぼ達成されたのではないかと考えられる。</p> <p>定期試験においては、学生が授業を全体的に振り返ることができるように持込レポートを取り入れている。これに関しては、大体の学生がしっかりと授業内容で重要と認識している箇所をまとめている。しかしながら、普段の授業の課題以外に全く学習に取り組んでいない学生が半数近くいることから、もう少し具体的に取り組み内容を伝える必要があると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許所(必修)、保育士資格(必修)の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DP1に関しては、試験解答状況を見てほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。</p> <p>以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。そのため、発言を促す際は、少人数でディスカッションする機会を設ける、発言は否定せずに受け止めるなど発言しやすい雰囲気を作る事によって、発言することへのハードルを下げ、意欲が高められるように配慮した。自由記述の中で、「早口でメモできない」との内容があるため、意識していきたい。ただし、学生には内容を要約してまとめるといったスキルを身につけていただきたいと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。本科目は、学生たちの子ども観や保育観の基本となる内容を取り扱っていると考えられるため、次回は授業理解度を途中で確認できるような機会を設けるなど、学習内容を深化させられるような取り組みをしていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度の2年生は、1年生の折から「シラバスに記載している“予習”箇所をこなしてから授業に臨む」ことを伝えていました。その結果、今期、該当の教科書を読んで授業に臨んでくれたため、授業での手ごたえがかなり良好でした。また、この科目が保育職として重要な内容であるという認識を持って臨んでくれたように感じます。多くの学生が「必修科目である」「資格取得に必要である」と回答しているところからも意識がうかがえます。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度の本科目の最終的な評価において、「不可」がいませんでした。知識理解を図るために「持ち込み不可」の定期試験を実施し、15回分の内容を満遍なく出題しています。その試験において、最高得点99点が3名、平均点が79点と例年に比べ点数がよく、しっかりと理解してくれたと実感しています。授業評価アンケートにおいても達成度自己評価の(2)は平均値が4.3であることから学生さん側からも実感してくれていたのではないかと考えています。しかし、そのために授業以外の勉強時間の大半が本科目で費やされているという趣旨の自由記載がありました。実際、勉強の時間を確保させるためにノート作りを課していますが、毎日本科目をしなければならない程の量ではないと思っています。定期試験前もしくはノート提出前に慌ててこなそうとすると本科目の内容量から考えると他の科目の勉強をする時間が無くなるかもしれません。次年度は、こまめに声掛けをしてためこまないように注意喚起をしようと思っています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの到達度自己評価において最も高値出会った項目は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」であり、本科目がDP1に重点を置いた科目であることが学生さんに実感してもらっている証拠であると思っています。そのため、DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容は妥当であると思います。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度の受講生の作るノートを見ると、授業で取り上げた内容からさらに発展した資料を載せていたり、自分でインターネット等で調べた資料や図、写真等が貼られているノートが数多くあり、授業内容の興味関心が深まっている証拠だと感動しました。今年度の図書館利用の度合いも大きく、「勉強すること」が定着してくれたかな、と思っています。ただ、内容量が多いため、学生さんに負担をかけているのは否定できません。そのため自由記載には「定期試験を持ち込み可にしてほしい」との記載がありました。しかし、本科目の内容からも、しっかりと理解してとっさの判断ができるようになって欲しいことから、これからも不可のままにしたいと思っています。その旨、該当学年の学生さん全員に説明をさせていただきました。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>今年度の授業評価の結果を見た時、学生さんに本科目がかなりの負担をかけていると感じました。しかし、子どもの命を預かる保育者として本科目を手薄な内容にすることはできないと思っています。反対に言うならば、年々、しっかりと授業外でも勉強をしてきているということがわかる結果であるため、嬉しくも思っています。負担に感じず、しかし、しっかりと勉強をしてくれるように今後も工夫を重ねていきたいと思っています。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	手嶋 英津子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの食と栄養	2	前期(後期)	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士を目指す学生に乳幼児期の発達段階に応じた栄養と食生活の重要性について理解を深めることを目的としている。受講動機は、必須科目である、資格取得に必要であると回答している学生が大半である。本年度より担当したため、昨年度の改善点はないが、今年度の取り組みを活かし次年度につなげたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>授業評価アンケートの結果より、自分なりの目標を達成した(平均4.0点)、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均4.2点)と、達成度自己評価のほぼすべての項目において、平均4.0点以上であった。 また、授業内に実施した、発表等においても基準を達しており、この評価とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価は、全てにおいて平均がほぼ4.0点以上であったため、内容的妥当性はあったと推察される。調理実習を取り入れ、体験を通して食の重要性が伝わるように工夫した。調理実習に関しては、「とても勉強になりわかりやすかった、また作りたい」との自由記述があったため、内容は特に問題ないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>保育士を目指す学生に、食の重要性をわかりやすく伝えられるように工夫した。座学だけでなく、グループワークや発表を取り入れ、体験を通して自然に食について学べるよう組み立てた。また、調理実習では、離乳食から幼児食までそれぞれテーマを決め、段階的に学べるよう工夫した。お弁当のメニュー作りからお弁当作りを実施し、栄養バランスや量について実践的なスキルを身につけることを目的とし実施した。学生の自由記述では、「調理実習でしたものを自宅でも作ってみました」「家で料理をした」等、実践した者もいた。また、初めてお弁当を作ったり、初めて体験した調理作業もあったという感想を授業内で聞くことができ、調理実習を通して、食に興味関心を持つことにつなげることができたと考えられる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>今年度初めて担当し、保育士を目指す学生に食の重要性を理解し、食に興味関心を持ってもらえるか工夫をした。調理実習や授業内容については、もっとわかりやすく楽しく食を学んでもらい、実際に保育士として子どもたちの食育を実践できる力が身につくよう、引き続き検討していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	新内 和美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
家庭支援論	2	前期	選択	はい	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であるが、保育士資格取得に必要な科目であり、子どもにかかわる専門職として必要な基礎科目である。受講動機として資格取得に必要なこと、また、必修科目であることが大半であるが、なぜこの科目が必修で資格取得に必要な科目であるのか理解させると共に、他科目との関連性も理解できるよう授業計画を作成し、実施した。保育士は子どもだけでなく、その家族を含めた様々な問題にかかわっていくので、現代社会における子育ての現状、子育て支援の現状等を理解することが、家庭支援を理解する一助となるので、ニュース等に取り上げられる子育ての現状にアンテナを張るなど現代の事象に関心が持てるよう、小レポートとして現代の子育て現状を調べ発表することを提示するなど授業の準備を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験やレポート等の結果、「到達度自己評価」、自由記述等から、レポート等提出物について科目の各単元の理解等目標を明確に示し、狭い範囲で回数を増やしたので、取り組み易かったと思われ、「全体を通して」、「意欲関心 (DP3)」についてはやや達成されたと考える。また、インターネット等メディア利用で調べ物を行い発表する取り組みを行い、自発的学習し発表をすること等で習得する、技能表現 (DP5) もはや達成されたと考えるが、図書館等の資料調査学習は、やや達成されなかったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「受講動機」は必修科目のため、資格取得のための受講動機が大半である。「学習到達度の自己評価」は「わりにそうだと思う」が大半で「まあまあそうだと思う」が続く。自由記述意見等からも、子ども及びその家庭を支援することが保育士の重要な職務であり、保育士として必要なこととして理解することはそれなりに達成されていると考える。児童福祉や子どもの発達等関連科目との関連付けも理解させながら授業を行ったところであるが、更に自発的な興味を持って学習するための設定が必要であると思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>家庭支援における知識の取得や理解等が授業の中心となっているせいか、学生にとって、受け身の授業となっていると感じる。今期は自発的な関心を更に深めるために、事前に課題を与え、インターネットや図書館等で予習をして授業を受け、発表を行うなど、積極的な授業参加を促す授業計画を立て実施した。レポート提出や発表の様子、学生自身の授業の評価を見ると、熱心に取り組んだ学生ともう少し取り組んでほしい学生との開きを感じた。家庭支援に興味を持ち、自発的学習に繋がるよう、個々の学生の取り組みを指導する機会を増やしたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>試験やレポート等の結果、「到達度自己評価」「授業の質評価」等から、パワーポイントや資料を使用した授業、事前に課題を与えて発表する授業形態を増やした授業の進め方から、知識の取得や理解、積極的に授業に参加することには一定の成果が出ていると考える。都市化、少子化、地域のつながりの希薄化という現代の子育て環境のなかで、子育て家庭に対する保育士による家庭支援がいかに重要であるかの理解、また、保育士の社会的期待の高さを理解する一助になったと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機を見ると、「必須科目である」からの理由を選択した学生が、95.7%と最も高い。また、昨年度同様「資格取得に必要である」と答えた学生の割合がかなり低く(今年度は36.2%)、資格取得に必要な科目である認識が薄いこともうかがえ、改めて授業の中での説明の繰り返しが必要なことがわかった。②「関心のある内容である」を選択した学生が、昨年度は5.4%、今年度が5.8%であることもかなり重く受け止めなければならないと感じ、保育の道に進もうとする学生たちの学ぶ意欲に刺激が与えられるようにと保育のエピソードや子どもの姿、それに対する保育者の関わりのポイントなどを授業に盛り込むようにした。③2018年度(平成30年度)に改訂施行された幼稚園教育要領、保育所保育指針についても、出来る限り改訂のポイントを伝えるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				どちらともいえない
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①試験成績に関しては、ABクラスの平均点が93.5点、CDクラスが96.5点とかなり高い成績であった。昨年度の課題を受けて、授業貢献度の低い授業時間中に寝ている学生や私語の多い学生の授業に対する集中力を高めさせ、学ぶ意欲が継続できるように、グループ討議や発表を入れて「保育内容総論」の基礎である「子ども理解」「保育者の関わり」の基本が少しでも理解できるようにした。その結果が、点数に表れていると思われる。②到達度自己評価に関しては、どの項目も平均4.0点とある程度の目標に達していると思われる。但し、一方でそうではない学生も少数おり、来年度はそのような学生への支援も視野に入れたい。③学習量の評価について、昨年度の課題から今年度は、必ず自宅学習をする箇所を指定して授業を終了するようにした。そのため、自己学習時間が0回の学生が昨年度は56%であったのに対し、今年度は37%に減っており、指定や指示による学習を促すことが必要であることがわかった。④図書館利用についても利用する学生の割合の低さを課題とし、来年度の計画に入れていきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門教育科目」における「保育内容・方法に関する科目」に位置づけられており、保育士資格、幼稚園教諭免許取得の必須科目である。受講生は、いずれも免許・資格を取得するために、意欲をもって受講していると思いたい。その受講意欲が善く長く継続できるようにしていきたい。今年度は、テキストを中心に授業を進めたが、保育実践での子どもの姿や保育者の援助、関わりなど具体的な事例を入れたり、子どもの背景にある家庭状況や社会的状況、保育者の役割や「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」の改訂などについても説明も交えた。そのため受講意欲も徐々に高くなってきたと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>1年生前期の授業であり、保育を学ぶ大切な入口であることを踏まえ、更に授業の工夫をしていきたい。また、学生の「授業の説明が分かりやすかったから」と「特に何をしたらよいかわからなかった」の両面について、そのバランスがとれるような授業の改善を図りたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>保育者としての「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)」や「職業選択の参考」についても学んでいけるような内容の工夫を積み重ねたい。また、主体的に自己学習をしようと思えるようなわかりやすい課題提示や授業工夫に一層の努力をしたいと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「健康」	1	前期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目が資格免許取得のための必修科目であることはアンケート結果により、しっかりと理解をして受講してくれたことが分かりました。また、関心のある内容と答えた学生も複数名おり、1年前期という初めて保育を学ぶ時期に期待を持って授業に臨んでくれていたことを感じます。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の最終評価において「不可」となった学生はいませんでした。DP1は小テストで測りましたが、2回目はしっかりとポイントをおさえた勉強をするようになってくれたため、平均点も飛躍的に伸びました。技術に関しては、台風などの影響で、全員揃ってする時間を確保できなくなったり残念なことがありました。その中でも、アンケートにおいては、到達度自己評価は、10項目中8項目が平均値4以上であり、しっかりと学んでくれたのではないかと考えています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容については、アンケートの到達度自己評価の値からも妥当であると認識しています。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今回の授業評価アンケートの自由記載の中に「気分の浮き沈みが激しくついていけません」という内容が複数ありました。実際に今期、「怒る(私の認識では)」という事が多々ありました。明らかに授業中「座っているだけ」「授業と関係のないことをしている」「ずっとお喋りをしている」という状況がありました。最たる回は、授業評価アンケート後、教材作りをするよう伝え、教材作りがしやすいように144教室を確保し、「アンケートが終わったら144で教材作りする方が来ていいですよ」と伝え退室しました(アンケート時は退室しなければならない決まりですから)。144ですっと待っていました誰一人として来ません。後で351教室に戻ると誰もいません。次の授業がピアノのテストでしたので皆さんピアノの練習に行きました。この状態でもヘラヘラすることは私にはできません。「機嫌がわるい」と言えば、その人の問題になります、つまり、相手側は何も非を感じていません。「怒られている」と感じるのではあれば、自分のことと捉えて改善してくれると思います。繰り返し同様のことで苦言を申し上げるということは「機嫌がわるい」としかとらえられていなかったという証拠だと、今回のアンケートで実感しました。そもそも、授業への心構えをいかに備えて受講してもらうかを思案しなければならないと思っています。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>例年、1年前期ということで子どもの姿がイメージしづらいという課題があるため、できる限りDVDを用いて実際に子どもの姿を示しながら授業を展開していきましたが、今年度、授業への姿勢が明らかに「学ぶ」というよりは「仕方なく、座っている」という学生さんが多く、授業が辛いことが多くありました。しかし、その状況でもアンケートにおいては到達度自己評価は思っていたより平均値が高く驚いています。時間割の要素もあるとは思いますが、来年度は、学生さんが自ら学ぶ姿勢を前向きにできるような授業をしていけるよう努めたいと思っています。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	谷口 幹也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「表現(造形・絵画表現)」	2	前期	選択	いいえ	95

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では、学生の主体的な学びを重視して実施した。本授業が必修科目であることから、保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、保育内容における造形・絵画表現の領域において、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容を解説した上で、「主体的な学び」、「遊びは学習である」ことを、具体的な表現活動をグループ学習を中心に実施した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者のDPを確認し、全体をとおして「やや達成された」とした。 知識理解(DP1)に関しても受講者の自己評価から「やや達成された」とした。 技能表現(DP5)に関しても、受講者の自己評価から「やや達成された」とした。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 DC、CP、カリキュラムから本科目については、他木の内容的妥当性は、「ほぼ達成されている」と判断する。その理由は、受講者の到達度自己評価が全項目の平均値が中央値に位置しているからである。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の意見を拝見し、本科目に関して授業の狙いを十分に理解できていない受講者がいることを把握することができた。 オリエンテーションの内容の工夫、また各授業の際の学修目標の提示等を行い、授業改善を行う。 保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、保育内容における造形・絵画表現の領域において、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容を図り、造形絵画表現の領域から、「主体的な学び」、「環境を通じた教育」の実現する教材開発、指導法の学修を、グループ学習を通して行っていきたいと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の意見から、本科目に関して授業の狙いを十分に理解できていない受講者がいることを把握することができた。そこで、本授業が保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、幼児教育、保育における造形、絵画表現の領域の重要性と必要となる力量を明示するようにしたい。そして各授業での学修目標の提示等を工夫し、からの授業実施と授業改善に努める。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「表現(身体・音楽表現)」	2	前期	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①94%の学生の受講動機が「必修科目である」「資格習得に必要な」「単位数の確保」ため、「関心のある科目である」ある学生はきわめて少なかったが、実際に授業を開始してみると後期の「保育総合表現」と密接に関係していることや、すでに多くの学生が現場の保育実習を経験していることもあり、よく意見を述べ合い、積極的に協働的に取り組む姿勢が終始みられた。また1年後期の「うたあそび」で培った「人の前で発表する」楽しさを体験できる機会ととらえ、失敗を恥ずかしがらず歌や身体表現を楽しむ場面を多く設定した。</p> <p>②子どもの発達段階に即した豊かな感性をはぐくむ表現遊びの重要性を認識し、音楽に関する知識・技能を学び、音楽表現遊びを実験することを主眼にした。「身近な楽器を活用した合奏と身体表現との融合」を含めさまざまな楽曲を用いて行った。昔話、有名な伝承話、創作劇などに自分たちで脚色し。音楽を練習し10分ほどの短い劇を互いに見せ合うことで、DP到達「コミュニケーションや表現力をたかめることができた」の項目が度自己評価が4.0になったのだと考える。現場に役立つ大切な技能を身に着けることができたと思う。</p> <p>③グループ発表の週は、現役高校生のリアル授業体験もあり、後輩のまなざしを感じながら、特別な高揚感があったと思う。励まし合い、お互いの良い点を認め合う協力的な空気が感じられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業の質評価では「自分の意見をまとめる、話し合う、学生が発表する機会がつけられていた」に「まあまあそうだと思う」を含めて全員が「そう思う」に回答しているため、授業の方向性はよかったと考えるが、到達度自己評価では「学びを深めたいと思う意欲を持つことができなかった」という学生が1人いて、この学生が授業のどの場面で意欲を持ってなくなってしまったかを真摯に考えたい。話し合い活動で、自分の意見が必ずしも通らなかつたり、評価に不満を持つことがあったのなら、続く後期の「総合表現」でそうした経験を払しょくできるような活動に携わってくれるようにきめ細かい教員としてのまなざしを持ち続けたい。</p> <p>②授業の記録を取らなかった学生が、残念ながら3割に上っていた。配布プリントにメモしたり、レポートを提出して返却したりして知識の蓄積に努めようとしたが、まだ不住部bbであったと考える。現場に出たときに見返せるような記録の取り方を推奨したが、7、8回目の授業の間でも徹底する必要があった。そうした課題も含めて、授業の終わりの質問の時間を確保するようにしたい。</p> <p>③書籍の利用より、手軽なスマホによる検索に偏る傾向が強見られた。確かな情報、正しい利用をこれからも徹底していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP学生の行動目標からみた内容の妥当性</p> <p>学生の行動目標のひとつである「即興演奏の基礎を学ぶ」ことは「全音階」という、5音階を使って「深い森の雰囲気」、あるいは「海の中」、のような音をピアノで再現し、それに合わせて身体表現をするような、学生にできる範囲のテクニックを実演することができた。多くが手法の説明に終わってしまい、なによりも、その指導法が確立しておらず最も難しいのが「即興」であるので、私の個人的な研究のひとつとしてこの分野のピアノ指導法をまとめていきたいと考えている。到達度自己評価の「専門分野について、学びを深めたい」と「意欲を持つことができた」は「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそう思う」を加えると98%になるので、今後学習が深まり、知識技能が伴って豊かな音楽表現を目指す保育者の基礎を身につけることができた。内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②自由記述から「レポートの評価基準があいまいだった。」という意見があり、今後この点をはっきり示していく必要を感じた。返却の時点で口頭で評価について述べて、よいレポートを発表してもらったりしていたが、提出の時点でそれを徹底しなくてはいけなかった。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合うなどなど、学生が参加する機会がつけられていた」の平均が4.0であり、他の項目も3.9と昨年より高い数値を示しているため、よい雰囲気の中で授業が進められておむね満足のいく学修ができたのではないかと考える。緊張の強い学生も、回を重ねるごとに他の人の発表などを参考にしながら自分の表現を充実させていけたと考える。またこの授業を通して自分の適性に向かい合い、得意分野を見つけて伸ばし、個人で、あるいは集団で音楽を使って表現する楽しさを味わい、保育現場の日常の音楽遊びを考えるきっかけをつかんでほしいと考えたが、レポートを通してこうしたことがまだ徹底には遠かった感もある。また学習の積み重ねという面からは、学生自身は文章や絵を持って「表現」を記録するむつかしさを感じていた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>具体的な楽曲を用いて身体・音楽表現を体験し、音楽を使った劇遊びに発展させていという本科目の目標は概ね達成できたが、一つひとつの題材に十分な検討を加え、発展させるための学生どうし話し合いの時間は十分とはいえなかった。授業時間以外に打ち合わせをする姿が見られた一方で、リーダーの意見のままに、受け身の姿勢が多かった者もいて、グループ評価の難しさも感じた。インターネットの検索による情報収集において、正しい情報とそうでないものを見極める力をつけ利用することが大切で、無責任な個人の投稿ではなく、出典のはっきりしたものから知識を得るために、図書館の利用を推奨したい。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合うなどなど、学生が参加する機会がつけられていた」が無回答の一人を除いて全員が「まあまあそうだった」「わりにそうだった」「かなりそうだった」であった。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実践の理解と方法	2	前期	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	① 0歳児から5歳児までの発達、配慮を必要とする子どもへのかかわり、保護者、地域、保育者との人間関係などトータルに学べるよう授業計画を立てた。 ② 昨年度はパワーポイントを使って2回、授業をしたが興味関心がなく4時限5時限は休憩時間のようになっていたため、3回目からは徹底して板書に変更した。今年度も毎回、必要な資料を作成して配布し、板書している。 ③ テキストを採用していないため、シラバスを具体化するの難しかったが、2年目になり自分なりの授業構成ができた。 ③ 保育現場に立った時に生かせる授業にありたいと考え、具体的な事例を交えて進めた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない		どちらともいえない		やや達成されなかった	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	① 試験をしないので、レポートや小論文、授業への貢献度等で評価したが難しかった。 ② レポートを提出しなかったり、提出しても数行しかない文章だったりで意欲を感じられない学生もいた。 ③ 専門分野の一つであるが、3、4～3、6の数値で、この一覧を見ても前向きとは言えない。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	実際に保育に携わったときに、子どもの発達や周囲の人間関係、自身の判断についてこの授業を生かすことができるよう、シラバスを組んでいる。なるべく多くの事例や事実に基づいた保育実践を示している。 乳児保育や、障害児保育等ほかの科目と重なる内容が多いが、育ちの流れや人間関係においては15回の授業でまとめの形で学べるのではないかと、内容的妥当性は十分あると考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①学生が参加する機会がないという回答が4人。事例検討の際、グループ討議の時間を作ったこともあったが活発に話す学生が少なく意欲を感じなかった。 ②達成度の自己評価も曖昧な回答が多い、ということは授業が曖昧であったという結果だろう。 ③質問に対して答える機会がないが4人。質問がある学生がいたことに少々驚いている。今後は質問がないか投げかけたい。 ④シラバスを参考にしなかったが64人と圧倒的な人数であった。次年度は3年目になり、もう少しわかりやすいシラバスを作成したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成度は満足のいくものではなかった。講師として自身の評価は「可」の下。 課題は①分かりやすい授業構成。②目安になるシラバスの作成。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障がい児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育現場で必要性の高い、発達障害についての知識を深め、保育実践のスキルを高めることを授業の課題としている。学生のほとんどは、免許・資格のために必要な科目であることから受講している。そのため、一般の保育所や幼稚園に就職するさいにも発達障害についての知識と技術が必要であることを説明し、受講意欲を高めることを意識して実施している。また、障害児について身につける知識と技術は多く、保育現場に出てからも研修などで新しい知識を身につける必要がある。そのための土台作りの科目であると考えている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は、教材作成や指導案の作成と実施、課題、レポートなどで評価した。DPIに即して、知識を身につけること、実践することの両方を評価するためである。その結果、学生の成績の平均は73点でありやや達成されていると評価した。教材作成や模擬保育活動には多くの学生が積極的に取り組んでおり、技能表現の項目については「やや達成された」と評価した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育の内容・方法に関する科目であり、障害児保育Ⅰにおいて、様々な障害を持つ子どもたちへの保育についての知識を学んだ後に、発達障害児にターゲットを絞って、より現場に即して実践的に学ぶ位置づけである。アンケートでは位置づけに見合った目標を達成ができていたことが学生の実感からうかがえる。ただし、前項目で記載したように、自己評価と実際の達成度にはずれがあるかもしれない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>2年生の施設実習直前の授業であることを意識して、障がいのある子どもたちへの支援を主体的に計画できる知識の伝達と、実践的な取り組みを含んだ内容となっている。提出物に評価をつけてフィードバックするなど、コミットの低い学生に対しての働きかけを考慮した。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>教育目標は概ね達成できていると考えている。今後、幼稚園免許のカリキュラム改正に合わせて、指導案の作成や模擬保育の実施などについても充実させていく必要がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は保育士資格取得について必修の授業で、保育所に就職希望の学生を中心に、また、認定こども園の増加に伴い、幼稚園に就職希望の学生も、認定こども園になった場合の「保育教諭」の資格取得に向け、主体的に受講する学生が多かった。</p> <p>・1年時の乳児保育Ⅰを受けての内容であるため、より内容が深まるように、また実習や保育現場での実践面で役立つように考慮しながら授業を行った。</p> <p>・個人差を踏まえながら月齢ごとの発達の姿について解説したうえで、その発達を支える関わり、また保育現場での実践について保育のポイントを押さえながら講義を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された			どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・トータルでの評価は81.5点(±0.4)で、再試対象者は0名であった。総合評価としては多くの学生がA評価以上の理想レベルに到達できており、乳児保育における思考判断は概ね達成されたと考える。</p> <p>・子どもや保護者への適切な遊びや養護技術などを実施する技能表現においては、講義を中心に行ったために学生の発表の機会が少なくなり、十分な目的達成には課題が残った。</p> <p>・グループワークでは積極的に意見を言う学生とそうでない学生とがあり、こちらから指名して質問をすると意見を述べることはできたが、学生による主体的なディスカッションには至らなかった。</p> <p>・授業内容に該当するテキストの箇所を知らせていたが、授業アンケートによればテキストを使って予習・復習することが十分できていたとはいえなかった。定期試験前には授業内容の確認学習はできていたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格の取得に向けて授業に臨む姿が見られた。</p> <p>・現場での事例(加工しながら)を用いて解説したことで、自由記述では「現場で必要な知識であった」と記述があった。事例を使った説明は有効であったと思われる。</p> <p>・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・テキストを用いた解説に加え、現場でのエピソードを盛り込んだ説明を心掛けたが、教員からの説明の量が多く、学生との双方向のやり取りにはなりづらかった。子どもの画像が載ったテキストやパワーポイントを多用して具体的な乳児のイメージが持てるようにし、学生からの質問や意見が出しやすい授業を工夫する。・予習・復習を行う学生が少ないので、授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>・学生の達成度自己評価とトータル成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、学生の主体的な学びを促すような授業を心掛けたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育演習	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生後期の「こども音楽療育概論」に続く科目であり、認定資格「こども音楽療育士」を取るという受講学生の目的意識がはっきりしているので学習準備は整っていた。後期の「こども音楽療育実習」とあわせて資格認定となるため、実習を視野に入れて具体的な楽曲に数多く触れて、その曲を用いる意義、こどもへのはたらきかけの工夫を学べるように授業を構築した</p> <p>②こどもたちとの出会いの準備から、見通しを持った計画の立て方、各セッションの進め方、楽曲を用いる際の楽器操作などの具体的な音楽テクニックの体得、こどもの変容を見極める力と療育場面の振り返りなど毎回学生各々が学ぶべき課題を明確にして臨むことを心がかせた。</p> <p>③『静かな森の大きな木』というノードフ＝ロビンズの考え方に基づいた楽曲集から学生各々が自らの課題に適した楽曲を選択し、セッションとして構築する課程を発表し合った。指導案は全員に配布し、問題点を共有し検討課題を明確にした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習到達度自己評価は平均値3.8で「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」がゼロだったので概ね達成できたと考える。</p> <p>②「コミュニケーションや表現量を高めることができた」という項目が「専門分野への学びを深めたい」や「専門分野の課題を検討する力を得る」の値を上回ったのが意外だが、少し実際の音楽体験の比重に重きを置きすぎて、課題の検討という部分に学生の意識を向ける努力が足りなかったと反省する。</p> <p>③演習ということで専用のノートを作らず、配布物にメモ的に記録を残すだけの学生が多く、これからの反省点である。後期の「こども音楽療育実習」につながる「こども音楽療育」として継続したノートの必要性を初めに説明したが、十分とは言えなかった。授業の合間に何回も申し伝える必要性を感じた。</p> <p>④簡易的にスマホの利用で検索をかける学生が多く、図書館を利用して、出典のはっきりしたものから知識を得ることを身に付けさせたい。このたび図書館の協力もいただいて、末成の書棚に希望の書籍を入れていただけたので、授業でしっかり利用を促す。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①自由記述には表れなかったが、実際の発表前に指導案を教師と吟味したり、用いる楽曲の伴奏形を変えたり、弾きやすい編曲に変えたりするという時間が必要で、授業以外にも相談に来る学生がいて、少し不満が残ったのではないかと推測できる。時間配分に無理はなかった、授業以外でも質問できるオフィスアワーの利用を周知するなどして、満足感のある前準備を受講者全員に実感できるように努めたい。</p> <p>②授業の終わったのちも、自分自身でますますの研さんを積んでほしいので、到達度自己評価の「学びを深めたいと意欲を持つことができた」学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせ60%にとどまったので、この数字を反省点に今後の学生への啓発にさらに力を入れたいと考えた</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①学習量の評価では30分程度の準備・復習の時間を取らなかった学生が3割もいて、これは自分の発表以外は予習復習をあまりしなかったということになる。用いた楽曲の練習という技術的な課題は各々がしっかり自分の力として身に付けてほしいので必要性を説いてきたが、まだ十分とはいえなかった。「こども音楽療育」は徹底した音楽体験に比重のある分野なので知識の定着と合わせて、音楽を楽しめる技能を身に付けてほしい。</p> <p>②ノードフ＝ロビンスの共同の仕事から生まれてきた「静かな森の大きな木」に収録されている楽曲もさることながら、障がいのある子どもへのはたらきかけ古今の標題音楽、映画の楽曲などまだまだたくさんあることを十分に伝えられなかった。情報利用の中で、こうした曲の紹介も積極的に行い、図書館を利用して様々な楽曲にふれ合うことを推奨していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>音や音楽を聴く活動さえも能動的な活動ととらえ、身体活動、楽器を使った活動、歌・発声の活動、これらの「療育的音楽活動」の幅広い活動を通して、障がいのあるこどもとの豊かな音楽体験を積み重ね、子どもたちの姿容のきっかけを見つける手立てについての学習に取り組んだ。「身体の動きに合わせる」「楽器を使って合わせる」「声に合わせる」という教師の音楽的なテクニックをもとに、「障がいある子どもたちと音楽」というものを学生どうしでもよく話し合う授業展開が行われた。地域での学生のサークル活動などでも本授業で研究した楽曲や音楽展開が学生の意志によって使われ、楽しい音楽体験が広まってくれたことが、前年度に引き続き嬉しい副産物だった。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。保育者に必要な音楽の知識を習得する講義と、基本的な発声を身につけるための演習の2クラスに分かれて、授業を行っている。</p> <p>講義では、教師からの一方的な教授だけでは、習得した音楽の知識を実践に活かすづらいと考え、教科書の他にプリントを用いることで適宜書き取りを行いながら進めた。また、学生によってこれまでの音楽経験から、既に音楽の知識をもっている学生と、これから初めて学ぶ学生とが混在しているため、単元ごとに確認テストを行い、学習の復習への意識を高め、それぞれの学習状況を把握していき、個別に質問を受け、答える機会を設けた。</p> <p>また知識の習得だけで終わらないよう、実際に得た知識から自ら考え伴奏をつくり演奏していく等、実践を取り入れながら学んでいけるよう配慮した。</p> <p>演習では、現場に出て必要な歌唱力の基礎を身につけることのできるよう教科書を用いる他に、幼児唱歌を取り入れることで、単なる発声練習とならないよう歌詞からイメージを膨らませ表現の工夫をし保育の現場で活かせるようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均83点である。(最高99点、最低51点、S-19人、A-34人、B-16人、C-6人、D-1人)である。</p> <p>本科目は2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均点の差は2点(82点、83.5点)であり、S,A,B,C,Dの評価もほぼ変わらない。学生により評価のばらつきはあるものの、ほとんどの学生が理想的なレベル、標準的なレベルに達している。学生による授業評価においては、「到達度自己評価」では「まあまあそうだと思う」以上の学生がほとんどの割合であったものの、「少しそうでないと思う」以下と回答している学生が3名以下と少数ではあるが、いることが課題である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPIに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、8割以上の学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、最終的な評価からもほとんどの学生が現段階での課題は達成できていると考える。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」では4.2(1項目)、4.3(2項目)、4.4(1項目)であったが、「学習量の評価(4)授業の課題以外に学習に取り組んでいない」が39名と半数以上おり、自由記述において「特にすることがなかった」といった意見が10名弱みられた。同じ項目で「取り組んだ」と回答した22名の自由記述では、「復習した」「ノートをまとめた」「歌の練習をした」という回答がみられ、学生が復習をするポイントを明確に示していけるようにしたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の目標達成状況や評価状況から、概ね授業の目標は達成されたと考える。 ただ、「到達度自己評価」の「少しそうでないと思う」以下で回答している3名ほどの学生に対して、これまでの音楽経験から音楽的知識が全く無い学生がよりスムーズに理解を深めていけるよう、全体に対して予習・復習の提示を図り、改善していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノ I	1	前期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。本科目では個々のレベルに応じて、ピアノの技術を習得していくため、個人レッスンで進めていく科目である。そのため、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員のもとグループをつくり進めている。グループで偏りがでないよう、入学前に学生のこれまで音楽経験をアンケートをとり、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p> <p>また、保育で必要となる弾き歌いの力を習得する前段階として、本科目ではピアノの基礎力を身につける教材を使用している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は72.7(S-6人、A-28人、B-6人、C-0人、D-37人)点であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。しかし、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は3.7であったのに対し、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.3であったことから、目標達成にばらつきはあるものの、保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで取り組んでいると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DP1に関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、ほとんどの学生が「わりにそうだと思う」以上を回答している。保育者として求められるピアノの力を身につけるために、本科目ではまず基礎を身につけることに重点をおいた内容を課題としているが、授業の課題以外に取り組んだ学習として「保育に関する曲に取り組む」と記述がある等、授業で基本的な技術を身につけていながら、保育の内容に結び付け意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題は無いと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生のこれまでのピアノの経験の有無から、進み方や達成目標に個人差が出てしまう科目であるため、より細やかな教員間の情報共有、連携を図っていき、学生が自分なりの目標達成に向けて取り組めるようにしていきたい。また、対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらく教員によって進め方が違うのではないかと考えたため、教員間の連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるようローテーションという体制をとって改善していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、後期の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法 I	2	前期	選択	いいえ	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。本科目では個々のレベルに応じて、ピアノの技術を習得していくため、個人レッスンで進めていく科目である。そのため、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員のもとグループをつくり展開している。グループで偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、一年次に開講している「こどものためのピアノ」での進捗をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、実習や就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内で相談にのり対応していくようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は71.8点であった。(S-4人、A-32人、B-24人、C-2人、D-28人)本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。授業評価では「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」で平均4.0とあることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であり、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、ほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、2年次での実習経験や就職試験の準備をしていく中で、より真剣に保育者として求められるピアノの力を身につけるために意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生のこれまでのピアノの経験の有無から、進み方や達成目標に個人差が出てしまう科目であるため、より細やかな教員間の情報共有、連携を図っていき、学生が自分なりの目標達成に向けて取り組めるようにしていきたい。また、一对一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるようローテーションという体制をとって改善していきたい。</p> <p>また、2年次になり、より実践力が求められていく中で、学生の技量に応じて課題内容を検討し、保育現場で対応していく中で必要な力を身につけらるよう教員間での連携、情報共有をはかりながら指導していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、後期の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生(前期)であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は89.7点(S-54人、A-16人、B-6人、C-1人)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、理想的なレベルの見本が示せたり運動あそびの補助ができるようになっていたが、BまたはCの学生は、授業中に達成することができなかったため、授業外等で引き続き個別の指導を行っていく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では、苦手なことをできるように練習したという意見や、運動あそびの種類や内容をノートにまとめるという意見が見られた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許(選択必修)、保育士資格(選択必修)の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、子どもの遊びについて楽しく学べたという意見や、知らないことをたくさん知れたという意見が見られた。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>体育館という環境のため、学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり、聞き取りやすい環境づくりに努めた。また、教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調べノートのとまとめたという意見が見られた。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習では、鉄棒やマット運動の練習を行っている学生が多かったが、図書館やインターネットを利用した学生がほほいなかった。遊びの種類や安全管理等を調べるような課題を設定し、利用を促したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。また、授業後に内容をノートにまとめるようにしているが、授業中の休憩時間にメモを取れるように改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども文化	1	前期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は資格取得に必要な科目で、学生は保育現場での「あそび」の実践につながることを理解して受講していた。それぞれ主体性や独自性を発揮しながら授業に臨んでいた。</p> <p>・こども文化財が幼い子どもの発達に与える影響を理解したうえで、子どもの発達を促しながら「あそび」を楽しむことができる文化財を作成するとともに、それをを用いて保育現場で実践できるように留意しながら授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・様々なこども文化財が子どもに与える影響について解説し、現場で活かせる文化財の作成を促したことで、ほとんどの学生はその意図を理解したうえで自分なりの作品を作るとともに、他者の前で発表することができていた。</p> <p>・トータルの成績評価は、83.9点(±3.2)。クラスごとでは、Aクラス83.3(±3.4)、Bクラス85.7(±4.3)、Cクラス79.6(±19.3)。Dクラス86.8(±3.2)で、Cクラスにばらつきが大きかった。Cクラスでは作品の提出期限の遅れや内容に不備のある学生が数名おり、指導を行った。</p> <p>・こども文化財の作成に当たっては、過去の学生の作品を参考にしたり、図書館やインターネット等で資料を探したりして、主体的に行うことができていた。</p> <p>・できた作品は自主実習に持参したり、オープンキャンパスで展示したりして、子どもや高校生からも好評を得たことで、自信をつけたようである。</p> <p>・その半面、制作や人前で発表することが苦手な学生にとっては抵抗があることも予想された。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は「専門教育科目」の「保育の表現技術」の科目に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格の取得にとって必修の科目である。受講生のほとんどはいずれの免許・資格も取得を目指しており、概ね主体的、意欲的に授業参加ができていた。</p> <p>・DPIに関しても、こども文化財の意義を理解したうえで、子どもの年齢や季節、行事などに配慮しながら意欲的に制作、そして発表を心掛けており、他者の作品や発表の様子を見てさらに工夫をしながら学びを深める学生が多かった。</p> <p>・以上のことより、内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・課題の作成や作品の発表が苦手な学生が数名いた。モチベーションを担保しながら子ども文化財の作成、発表を行うために、参考になる作品の紹介や教員によるデモンストレーションなどを適宜取り入れていく。・また、実物の紹介だけでなく、図書館やインターネット等を利用する方法も、必要に応じて具体的に提示していく。・在籍クラス単独での授業を活かし、人前での発表に慣れるように、無理のない範囲で発表の機会を増やしていく。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none">・一部に課題の作成や人前での発表が苦手な学生が見られたが、ほとんどの学生は実習や現場で活かせることも文化財を作成し、授業の中で設定保育形式で発表することで、準備を整えて実習に臨む態勢を作ることができたと考えられることから、概ね授業の目的は達成できたと思われる。・次年度には、さらに子どもの年齢や季節、行事などを考慮した課題の提示や設定保育形式での発表を、授業の中で工夫していく。・また作成や発表が苦手な学生には、自分から主体的に作成に取り組む意欲を育てるように留意しながら、ある程度の具体例を示すなど細やかな支援も心掛けたと考えている。
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの発達理解とあそび	2	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生はほぼ全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。</p> <p>オムニバス科目であり、「あそび」担当教員は、リズム遊び、ルールのある遊び、わらべ歌など、実際に年齢別の子どもの姿を伝えながら、保育者の援助方法、遊びの展開についての教授を行い、実践理論担当教員は、体験した遊びの内容の振り返り、留意点を伝えたと上で、実際の実践指導案の作成を指導した。そのことにより、学生が自分の体験をもとに子どもであれば、という視点を持ちながら振り返りを行う事ができたと考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は80.1点(最高点99点、最低点33点、A-27 8人、B-27 16人、C-18 31人、D-13 24人、E-7 11人)である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの得点の平均はAB-80.8点、CD-79.4点であり、両クラスとも同程度の習得度であることがわかる。昨年度と比較すると平均点が5点以上高くなっている。評価区分もA評価が昨年度10%を下回っていたが、今年度は30%弱となっており、全体的に高得点となっている。これは、昨年度授業内容に関して乳児に焦点をあてた内容を取り入れたが、教師も昨年度の反省を基に授業改善を行った結果であると考えられる。</p> <p>受講にあたっては、図書館などを利用し授業に活かすなど、積極的に取り組んでいる学生も3割程度見られ、意欲的に授業に取り組もうとしている様子が見えがえる。予復習の時間を全くとっていない学生が半数近く見受けられるが、授業後の指導案の提出課題などを行っているはずであり、認識の相違であると考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状(必修)、保育士資格(選択)の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DP1に関しても、子どもも理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていた。</p> <p>また、随時ある実習においても本講座で作成した資料等を活かすなど、授業と実践が密接に関連していることがうかがえる。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。授業の質的評価得点の平均は4.0点であった。昨年度よりも0.1ポイントではあるが、改善されている。</p> <p>計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いた。教師からの指導だけでは、なかなか改善が見られなかったため、今年度は友達同士による添削・助言を取り入れた。また、クラス毎に作成した指導計画を印刷・配布することで、同じあそびでもさまざまな展開の仕方がある事、自分では気づかなかった留意点や援助方法があることなどを身近な友人の指導計画を観ることによって学ぶことができるように工夫した。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。</p> <p>担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないと思う。</p> <p>友人の指導計画を確認することは有意義ではあったと思われるが、資料の量などを考え1回しか行う事が出来なかった。次年度は、印刷する資料を厳選し、複数にわたり、配布していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学 I	1	前期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、毎回の講義で各々が聖書を声に出し輪読をすること、学生による紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポート、ミッションデー後の教会訪問などを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。</p> <p>毎回、授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その回の学びの確認を行っている他、チャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加と聴いたメッセージまとめる学びを促した。</p> <p>今後は、さらに建学の精神の土台を日常的に習得していくため、予習・復習の課題を具体的に示していく工夫を行う。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては3.9ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は3.8ポイント、他の到達度自己評価も概ね平均3.5以上であった。トータル成績の平均値は約75%以上、チャペルの出席率約80%以上、教会訪問の出席率約90%以上とチャペルポートフォリオや教会訪問の感想などから、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>キリスト教学 I はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学 II の中で、I で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという行動目標に沿い、学問としての旧約新約聖書の講義とアクティブラーニングの学びの他、チャペル出席、教会出席、等を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>自由記述の中には、「紙芝居などを使ってわかりやすかった」との回答があり、引き続き慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れながら多角的に捉える視点を大切にしたい。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。100%の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.9ポイントであったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>“必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。</p> <p>授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、チャペル出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入し、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。これによって、前期のチャペルの学びの全体像が見えるようになった。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたいと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナー	1	前期	必修	はい	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である98.5%、②資格取得に必要である8.8%、③関心のある内容である2.9%、④単位数を確保する8.8%、⑥先輩に勧められた1.5%</p> <p>・学科における必修科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。</p> <p>・シラバスに沿って、主として演習形式で進化した。</p> <p>・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均82点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.1で最も高いスコアであった。</p> <p>(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.7で最も低いスコアであった。</p> <p>(10)職業選択の参考になった</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科のDPの知識理解(DP1)、態度(DP4)を担う科目として開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.7～4.1であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役だった。さらなる利用の促進を図りたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考え。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの健康等を守るためにまずは自己の健康・体力について理解することは大切である。また、大学に入学し生活環境の変化等があり、学生自身の生活習慣の見直しや健康管理の重要性を理解してもらうために、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。教室での講義だったが、スポーツ科学実技での体力測定結果や、実際に運動を行うことで運動強度を測定・評価したりして理解が深まるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は81.8点（S-33人、A-13人、B-11人、C-20人）である。半数以上の学生がSまたはAを取得していることから、目標はやや達成できたと考えている。しかしながら、小テストの得点を見てみると60点を下回る学生もいたことから、説明等を丁寧に行い通年で行われているスポーツ実技でも健康等について引き続き指導していく必要があると思われる。また、運動量等の計算では、より丁寧な説明が必要であると感じた。授業評価アンケート「学習量の評価」では授業中にノートを取ったりして理解できたという意見が聞かれた。また、「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、ストレッチや体力を向上するために運動をするようになったという意見も聞かれた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題はほぼ達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で平均点が4.6点となっており、多くの学生が知識を得たと考えている。また、分かり易い説明で学ぶことが多かったという意見や、今後の生活に活かしたいと思いますという意見も聞かれた。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で講義を行った。また、理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを引き続き検討していきたい。また、図書館やインターネットなどを利用できるような講義内容も検討していく。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的はやや達成されたと考えられる。この講義は教室で行うため、実際の運動や生活習慣に繋げていけるようにスポーツ実技等の科目でも指導を行う必要があると思われる。また、授業だけではなく、普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	江田 康子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
女性とマナー	1	前期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①「女性とマナー」は今年度保育学科の初めて授業です。計10回。 ②2年後に社会人、1年生の後期は実習もあり、社会性を持たせるために組織人として必要な倫理観や知識、マナーを中心に授業を展開。 ③高校を出たばかりの学生に、言葉遣いや態度、話し方等、相手に受け入れられることの難しさを理解させることは、多くの学生は自分では出来ていると感じているため、もしくはその重要性を理解出来ていないため、その基本をどのように伝えていこうか、授業計画を新たに作り直したい。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	やや達成された				どちらともいえない
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①学生の到達度自己評価は3.1点～3.8点と、中央値より高い。しかし先輩や上司から見て、マナーやモラルが身に付いているかという、求められているのもと、自己評価には隔たりがあるように思います。 ②知識での理解が、実際の行動に結び付けられていない。根拠は『学習に取り組んでいない理由』の項目から、以下学生自由記述。「仕方がわからなかった」「何をすればいいのかわからなかった」「取り組む理由がないから」等、学んだことを実践してみる。行動に結び付けようと試みているとは言えない。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①到達度自己評価、授業評価は共に、中央値より高い。しかし学生自由記述では、上記にも示したように『学習に取り組んでいない理由』に「しなくても良いと判断したから」「課題なし!」「特にすることがなかったから」の記述。次年度は【何をするのか】を明確に理解をさせ、【何をしたのか、またそれぞれの学生の課題】が理解出来るよう工夫したい。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①77名の学生が受講。教室は後ろに学生が座る。前はがら空き。前に来るよう指示するが指示したその時の授業のみ前に座る。次年度は席次を決めます。 ②「席が後ろだったのでマイクをつかわないときは全く声が聞こえなかった」学生記述。マイクの状態が悪く聞こえなかったと思われる。前期中でマイクの交換済み。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>①保育士として保護者様から安心信頼を得るためのマナー・モラル・常識を学生に理解出来るように授業を工夫していきたい。 ②学生記述「とてもためになる話でした。将来に役立つと思います」「大事なことは紙にまとめておいた」「家で歩き方の練習をした」「礼の練習を家でした」等、授業の趣旨を理解する学生が増えるように努力していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経済学入門	1	前期	選択	いいえ	1

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。③関心のある内容である100% ・学科における選択科目である。 ・初学者の受講を想定して、資料を準備・配布した。 ・教材の内容を理解、定着させるために例題等による問題演習が有効であるので理論を解説した後、単元の区切りとなる時点で問題の演習を行った。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験を経ての成績評価は、平均90点/100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値5.0で最も高いスコアであった。 (3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値2.0で最も低いスコアであった。 (7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた 					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学科のDPの知識理解(DP1)の基礎部分を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.0～5.0であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	Michael Jordan Berg

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英会話入門	1	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	We followed the textbook fairly closely. Students were occasionally given homework but not usually. At the end of the year they did a presentation which was a play based on the units in the textbook. They wrote and memorized it.
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	yes.	Yes				yes.
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Grades were given based on participation, tests, the final exam and effort exerted. Students seemed generally satisfied with the class, and it seemed neither too difficult nor too easy so I suppose I will continue to administer it the same way next year. There was no internet outside learning.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	The class was communicative with plenty of opportunities for free discussion however students' levels were such that much care and structure had to be provided. Motivation included providing a fun atmosphere and positive feedback generally.
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Keeping students on task was perhaps the biggest challenge as some would finish tasks early and then – having nothing to do – interfere with the slower students completion of said assignment. A good way to proceed then would be to seat students next to other students of comparable capability perhaps.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

Maintaining a positive atmosphere and keeping the zone of proximal development level ideal is key in these classes but generally the students enjoyed and were challenged by the class, and so I will continue to do it how I have so far frankly. I should perhaps focus on my handwriting on the board however as it can get messy.

リフレクションカード 2018年度前期

学科	保育科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎回行う小テストで、初回あたりは全員の平均点はあまり高くなかったが、徐々にハングル文字のコツをつかみ出して学期後半においては皆が高い平均点を出せるようになった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本講義は語学学習を通じて韓国という国・地域に興味をもち、言葉に現れる文化の違いなどを理解し、また実際に韓国語を話すことによって異文化への理解を深めながら学習が可能になったと思うので、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたりました。最終テストでは全員の平均点が高く語学の基礎的レベルには十分に達したと思う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと思う。</p>
-------------------------------	---